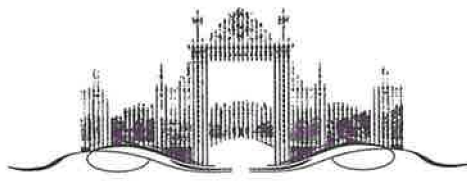




Rotary International
LEAD THE WAY

率先しよう
2006～2007年度
国際ロータリーテーマ：ウィリアム ボイド会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ
No.957 / 2007.6.22

例会 / 毎週金曜日12:30
例会場 / 東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111
事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8
赤坂2丁目アネックス3F
Tel 03-3505-5976
Fax 03-3505-6004
akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp
http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「これまでも、これからも 皆で築こう赤坂ロータリー」

2006～2007年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 荒木昭文会長

●本日の例会 / 2007年6月22日第980回例会

2006～2007年度最終夜間例会・打ち上げ会
(18:00～20:30)

◎ 夜間例会

「退任のご挨拶」

会長 荒木昭文君
副会長 吉田用親君
幹事 石井謙次君

◎ 打ち上げ会

『楽しいおしゃべりと60年代のポップス、
懐かしいグループサウンズ』
コミックバンド「シュガートシ&ラブリー田中」

「退任のご挨拶」

会長 荒木昭文

会員皆様のご支援をいただき、一年間会長を務めさせていただきました、本当に有り難うございました。

今年度はクラブ創立20周年の大切な節目の年に当り、クラブテーマを「これまでも、これからも皆で築こう赤坂ロータリー」と提唱させていただき活動してまいりました年度も、本日の例会をもって幕を閉じることとなりました。

就任のご挨拶で、創立の原点を見つめ、よい伝統を大切に、新しい理想を加え、全会員力を合わせて新クラブ名称となった東京赤坂ロータリークラブを創意と活力に満ちた洗練されたクラブにしていきたいと思います、そして我々全会員は、クラブを次の10年、20年へと繋げていかなければならない責務が有ることを申し上げました。

20周年行事を振り返ってみますと、正に全会員が参加し、奉仕することによって、ロータリーの理想と活動を肌で知っていただけた良い機会となったことと思います。

20周年行事では、多くの成果が得られましたが、その中でも代表的なものを挙げますれば、赤坂見附の時計塔のご寄贈では、地域社会の皆様の利便性の向上に寄与させていただきました。また、チャリティーコンサートではアイメイトご利用の視覚障害者の方々を始め多くのご来場者へジョンチャヌ会員の素晴らしい音楽をお聴きいただけたことと思います。そしてコンサート収益金より多くの社会奉仕団体へご寄付をさせていただきました。私はこれらの成果以上にクラブにもっと大きな成果を残すことが出来たのではないかと考えております。それは、全会員が難しい行事をやりとげた満足感と感動と、そして全会員の連帯感が更に強固なものとなったのではないのでしょうか。

私は20周年行事で全会員がその準備に参加し、それぞれの役割を果たされた奉仕の場面を見させていただき、これこそ正にロータリークラブの姿であることに感動し、自分が東京赤坂ロータリークラブの会員であることに誇りと感謝をし、益々クラブへの愛着心を深めることが出来ました。

このような感動の機会を与えていただきましたクラブに、そしてご支援をいただきました吉田副会長、石井幹事、理事役員の方々、20周年実行委員会を代表し柴本委員長、会員の皆様、そして事務局松尾さん、ピアノの泉さんの全ての皆様のお陰と心より感謝とお礼を申し上げまして退任のご挨拶とさせていただきます。

「退任のご挨拶」

副会長 吉田用親

2005年6月10日発行の当クラブ週報の中に、6月3日に開催された、2004～5年度、及び2005～6年度 合同理事会の議事録が掲載されています。その決議事項の中で、「アンケート調査結果を受けて当クラブの名称を赤坂ロータリークラブとする」ことを承認、又「一身上の都合により、青野信次君の退会を2005年5月31日付で承認」と記載されています。

今になって思えば、この事が私が2006～7年度の副会長をお引き受けざるを得なくなった最大の要因となりました。青野信次君は、2006～7年度の会長指名が決定していましたが、その状況を踏まえた上で、同君が退会を決意したのは、公式には一切触れていませんが、名称変更問題が深く関わっていたとされています。2005年7月に入り欠員となった次年度会長に誰が就任するかが大きな問題となり、指名委員会で検討の結果、荒木会員が最適ということになったのですが、職業上の理由等々から強く固辞され、この問題は暗礁に乗り上げた感がありました。然し、20周年を迎える年度の会長としては、荒木会員以外にないという事で、更に、再三にわたる就任要請の結果、条件付きで引受けていただけることになりました。その条件の一つが、会長補佐としての私の副会長就任でした。私も、指名委員会の委員の一人でしたので、その責任上、背に腹は変えられず、という事で荒木年度がスタートし、今日に至りました。

当クラブに取って非常に大切な20周年記念の年度を、荒木会長をはじめとする理事、役員の方々と力を合わせ、とにも角にも無事乗り切れたのは、全会員の皆様の絶大なご協力の賜と、痛切に感じ、ホッとした気持ちと併せ、会員の皆様に心から感謝申し上げる次第です。

「退任のご挨拶」

幹事 石井謙次

一昨年12月に幹事にご選任頂いてから早くも1年7ヶ月が経ち、退任の日を迎えました。この間の荒木会長・吉田副会長から頂いたご指導、また、理事・役員の皆様、及び各委員会の委員長・副委員長・委員の皆様のご支援ご鞭撻に心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。

特に今年は創立20周年という、節目の年度であり、当初自身自身で幹事という重責をまっとう出来るか大変不安でした。荒木会長は創立10周年の当時の幹事であり、大所、高所からご指導を頂き何とか乗り切ることが出来ました。

幹事の仕事に多くの時間を割きましたが、それを補って余りある友情をクラブ内外の方々から頂きましたし、またロータリーの知識を深めることが出来ましたこと、クラブ運営を理解した事など、幹事を仰せつかって本当に良かったと思っています。今後のロータリー活動に少しでも役に立てるつもりでおります。

このような頼りない幹事を一生懸命支えて頂きました、事務局の松尾さんには心から感謝申し上げます。

昨年福島さんから受け継ぎましたバトンと、無事次年度の岩上さんに渡す事が出来、ほっとしていると同時に、1年間幹事を無事務められた充実感に浸っております。

最後の1年間ご協力本当に有難うございました。

◎卓話 イニシエーションスピーチ

「趣味に生きる!!」

当クラブ会員 鶴間 喜久男 君
(オーシャン ランディック株式会社 代表取締役)

平成 16 年より 3 年間かけまして、お四国のお遍路さんに参りましたお話をさせていただきます。妻の販売会社の本社がお遍路さんの企画をし、参加しましたのがきっかけでした。

日数：徒歩のみ 40 日以上
乗物利用し徒歩 25 日以上
バス 14 日以上
タクシー・自家用車 8 日以上



88ヶ寺について：

1番寺～23番寺	徳島県 (阿波の国)	発心の道場
24番寺～39番寺	高知県 (土佐の国)	修行の道場
40番寺～65番寺	愛媛県 (伊予の国)	菩提の道場
66番寺～88番寺	香川県 (讃岐の国)	涅槃の道場

巡拝の仕方：

山門で合掌、一礼して境内へ、水屋にて、手、口を清める、次の順序で清めます。
1.左手 2.右手 3.左手に水を取り口を清める
4.ひしゃくの柄を清める (鐘楼堂で鐘を2度つく)
本堂の前で、ローソク、お線香、お賽銭、納め札、写経をお供えする。本堂にて般若心経、ご本尊真言等々を唱えお参りをする。大師堂へ移動して、本堂と同様にお供え、お参りをする。納経所にてご朱印を貰います。山門を出て合掌、一礼をしお寺さんを後にします。

お衣裳：

お衣裳は、基本は白装束です。白衣・白パンツ・白靴・笠・輪袈裟
菅 笠 日除け・雨帽
白 衣 びゃくえ (という)
輪袈裟 トイレの際は必ず取り外す

持ち物：

杖・杖カバー・山谷袋・念珠・経本・納経張等
金剛杖 弘法大師が宿るとされる。
金剛杖 お塔婆の代わり、橋の上では、つかない
山谷袋 巡拝に必要な物を入れる
同行二人 お遍路がお大師さまと二人づれと言う意味

巡拝に必要な物：

納め札 (名刺みたいな物) 願意を記入 1ヶ寺 2枚
写経 (般若心経) 1ヶ寺 2枚
お賽銭・ローソク・お線香 (1ヶ寺2ヶ所に)
お寺さんで貰う物：ご朱印があります。
納経帳 1ヶ寺 300円
判 衣 はくえ 100円
お 軸 500円
御 影 お祭りしている仏・如来・観音・菩薩さんなど高野山は、費用がかかります。

日程：一年目

平成 16 年 11 月 21 日から 25 日の 4 泊 5 日で早朝より羽田空港を立ち徳島空港に、着後身支度をして 7ヶ寺を巡拝お宿は、宿坊にて (お寺さんの宿泊所) 次の日は、徳島市内のホテルに宿泊、阿波踊り会館で阿波踊りの体験、腰を落として踊るので結構きつかったです。4日目は、高知市内のホテル (坂本龍馬の生地だったところ) 最終の夜なので、宴会があり「よさこい踊り」の練習をしました。4泊5日で合計 33ヶ寺を巡拝し、高知空港より羽田に戻りました。

二年目

平成 17 年 11 月 21 日から 25 日の 4 泊 5 日で早朝より羽田空港を立ち高知空港に、着後身支度をして巡拝スタート最終の夜は道後温泉に宿泊、坊ちゃん風呂を堪能しました。4泊5日で合計 31ヶ寺を巡拝し、松山空港より羽田に戻りました。

三年目

平成 18 年 11 月 21 日から 25 日の 4 泊 5 日で早朝より羽田空港を立ち岡山空 港に、着後身支度をして瀬戸大橋を渡り巡拝スタート、2日目は、琴平のホテルに宿泊し、早朝金刀比羅宮をお参り24ヶ寺を巡拝して見事満願を達成致しました。飲極まる!! 満願証書を戴きました。その後、高野山にお礼参りに出発、明石海峡大橋を渡り高野山へ高野山の宿坊に宿泊、翌朝

おつとめをして、奥の院等お参りして岐路へ伊丹空港より、羽田に戻りました。

まとめ なぜお遍路さん!!

人生53年 (当時) 生きて参りました中で、なぜ生きてるのかな、死とは何かな!!

いろいろ顧みて、これからどうやって生き抜いて行くのかな! これからの人生このままで良いのかな!

考えても、考えても・・・そう、せっかくの機会だから、懺悔しに・・・

お坊さんでないのに、朝のお勤め般若心経を非常に、さすがしく巡拝が出来ましたことを感謝致しております。そして今年も、11月に第二回目の巡拝をと考えてます。特に、今回は、巡礼の方の為に何かをさせて頂くことを念じて参加致します。

皆様方の中で、何人の方々は「懺悔」された方が良い方がいらっしゃるようですが、或いは、そう思われる方は、是非「懺悔」の旅はいかがでしょう?

—●先週報告/2007年6月15日 第979回例会—

プログラム委員会：(吉岡委員長)

プログラム委員会、お蔭様で本日でプログラムは全て無事に終了しました。皆様ご協力有りがとうございました。

親睦活動委員会：(竹本委員長)

6月22日 (金) 最終夜間例会及び打ち上げ会です。テーブルbuffetスタイルのディナーでお楽しみいただきます。皆さま、各委員会全員の慰労会を兼ねております。多くのご出席を期待いたします。

慶事披露：

誕生日祝 / 西澤民夫君 (6月17日)

出席報告：

会員55名 / 出席32名・欠席23名 (出席規定免除者5名)
ビジター / 椎津忠三 (東京中央RC)、佐野吉彦 (大阪RC)
計 2 名 (順不同・敬称略)



6月15日 / 15件 31,000円 / 本年度累計1,286,390円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

荒木昭文 / 鶴間さん、イニシエーションスピーチよろしくお願ひします。小原健 / 暑いです。勝山洋光 / 鶴間さん、今日の為に出張延ばしました。イニシエーションスピーチ期待しています。入沢頼二 / 武下さんには、いつも何かとお世話になっております。鶴間さんイニシエーションスピーチ楽しみにしております。岩上義明 / 橋本さん火曜日は欠席致しまして申し訳ございませんでした。尾関武男 / 次回6月22日打ち上げ例会、出張の為、欠席します。荒木会長、石井幹事、役員の皆さん御苦勞様です。馬場一廣 / 今日のはほんとうに暑いですね。福島賢哉 / 長雨のシーズンに入り体調には気をつけましょう。武下さんのニコニコにひきつけられて。椎名康允 / 祝、鶴間さんイニシエーションスピーチ楽しみます。石井謙次 / 鶴間さんイニシエーションスピーチしっかりね。武下さん御苦勞様です。高須康有 / 鶴間さん、イニシエーション楽しみにしています。吉岡琢磨 / 鶴間さん、イニシエーション頑張ってください。武下さん、お疲れ様です。藤井敬一 / 鶴間さん、イニシエーションスピーチ頑張ってください。鶴間喜久男 / 最終の昼例会並びに私のイニシエーションスピーチです。宜しくお願ひします。武下朗 / 今日はニコニコ担当でした。

次週6月29日 (金) は休会です。

●次回予告 / 2007年7月6日第981回例会

「就任のご挨拶」

2007～2008年度	会 長	小原 健 君
2007～2008年度	副会長	四分一 勝 君
2007～2008年度	幹 事	岩上 義明 君